

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い

統合開発環境High-performance Embedded Workshopの使用上の注意事項を連絡します。

- Import Makefile機能を使用する場合の注意事項

1. 該当製品

High-performance Embedded Workshop(*) V.3以降

* High-performance Embedded Workshopと連携するコンパイラなどのソフトウェア製品にバンドルされています。

High-performance Embedded Workshopのバージョンは、メニュー「ヘルプ」から「High-performance Embedded Workshopのバージョン情報」コマンドを選択すると確認できます。

2. 内容

Import Makefile機能を使用してインポートするメイクファイル内に、一文字でも大文字と小文字の違いがある同じファイル名が複数記述されている場合、インポートできません。

該当ファイル名の例: File.c と file.cなど。

新規プロジェクトワークスペースダイアログボックスで、メイクファイルをインポートするための設定を行う際に、最後に表示される「概要」ダイアログボックスでOKボタンをクリックするとインポートが実行されずに、最初の新規プロジェクトワークスペースダイアログボックスが表示されず。

3. 発生条件

該当製品と以下いずれかの製品を組み合わせで使用する場合に発生します。

- M16C/60, M16C/30, M16C/20, M16C/10, M16C/Tiny, および

R8C/Tinyシリーズ用 Cコンパイラパッケージ

M3T-NC30WA V.5.20 Release 1 ~ V.5.30 Release 02

- R8C/Tinyシリーズ用Cコンパイラパッケージ（専用無償評価版）
M3T-NC8C V.5.30 Release 1
- M32C/80, M16C/80 および M16C/70シリーズ用Cコンパイラパッケージ
M3T-NC308WA V.5.20 Release1 および V.5.20 Release 02
- M32Rファミリ用Cコンパイラパッケージ
M3T-CC32R V.4.20 Release 1 ~ V.5.00 Release 00
- SuperH RISC engineファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ
V7.1.03 ~ V.9.00 Release 02
- H8SX, H8S, およびH8ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ
V5.0.05 ~ V.6.01 Release 00

4. 回避策

同じファイル名を記述する場合は、大文字と小文字の違いがないようにしてください。

5. 恒久対策

コンパイラパッケージの次期以降のバージョンアップの際に、改修した High-performance Embedded Workshopを同梱する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。